

この実

《第206号》
2017年1月号

発行者
社会福祉法人 札幌この実会
札幌市西区西野969番地
TEL. 011-663-2233

謹賀新年



社会福祉法人 札幌この実会
理事長 佐藤保

明けましておめでとうございます。養生の皆さん、保護者の皆さん、役職員のみなさん、こやかに清々しい新年をお迎えになられました。ようか。

昨年は、札幌この実会にとって区切りを迎えた年でした。それは苦勞を共にし、草創期からの本館西ブロックから南ブロックと言われる北の沢デイセンター、第2この実会を主体とした施設、事業が八月に分離独立が認められ十月一日から新しい運営主体であるこの実会としてスタートいたしました。思い起こせば南ブロックは養生の高齢化、重度化に対応するため整備を進めたのですが、施設が巨大化し群になるとスケールメリットもありません。一人ひとりの顔が見えにくくなり画一的なサービスや管理することに重きが置かれる長れがあります。人が生活を営む場として適切なものかどうか、養生の顔が一人ひとり見える適切な大きさというものがあつたのではないかと一人ひとりが生き生きと暮らす当たり前の生活を保障できる適性規模というのがあるだろうという思いが法人分離する契

機となりました。相模原事件を目的の当たり前にしやすと一層その思いを強くいたしております。既に「あむ」NICKORの独立があつてそれぞれ苦勞はありながらも順調に運営されております。これからのこの実会グループとして互いに切磋琢磨し、また助け合い、補い合いながら「札幌この実会」の理念を失うことなく地域とともに創造する福祉サービスと目指して欲しいと願っております。さて、昨年はまた災害が多い年でした。四月の熊本地震は三・一を想起させ、十月には鳥取地震、十一月には東北で地震・津波が発生し、地下活動が活発化しているのが伺えます。また、台風に見舞われることが少ない北海道で八月五日夜明けに三つの台風が日高地方、釧路地方に上陸し大きな爪痕を遺しました。十一月の関東の初積雪なども見ます。これまでの常識は危ういもので防災意識の再確認が必要で、そんな中で嬉しい話題は、ファイターズの十年ぶりの日本一とコンサドールのJ1昇格です。特にファイタースはリーグ戦での奇跡の大逆転をへて、CS優勝を成してセリク覇者名をこねまた逆転で打ち破つたの勝利。優勝パレードも寒さを吹き飛ばす熱いものとなりました。本日に集めておいたたまりました。今年の初夢は連覇の胸上げです。さて恒例ですが酉年の守り本尊は「不動明王」です。煩惱・障を焼

- き私い悪魔を降伏させ...長寿と得させるそうです。皆様のご多幸をお祈りいたします。
- 社会福祉法人札幌この実会
理事長 佐藤保
 - 理事 加藤孝
 - 理事 木村昌次
 - 理事 齊藤宏子
 - 理事 梅井治雄
 - 理事 佐藤悟
 - 理事 佐久間 司郎
 - 監事 小平 正治
 - この実サポートステーション
佐藤 悟
 - この実支援センター
口屋 美子
 - 社会福祉法人あむ
理事長 松川 敏道
 - 社会福祉法人NICKOR
理事長 大久保 薫
 - 社会福祉法人
理事長 武井 真紀子
 - 社会福祉法人
理事長 山崎 千恵美
 - 社会福祉法人
理事長 小笠原 俊一
 - 社会福祉法人
理事長 佐藤 仁



社会福祉法人

藻岩この実会誕生!

社会福祉法人 藻岩この実会

法人統括施設長 佐藤 仁

札幌この実会は、療生とその家族一人ひとりの顔が見える人員規模を適正な組織の大きさであるとし、地域に根差しながら共に支えあう組織づくりを展開して参りました。その考えに賛同する人たちが集い、組織が活性化してきたことで、いろいろな課題が派生して参りました。その課題を成し遂げるために、平成二十一年に社会福祉法人NICKORと独立させ、一人ひとりの願いが届き、叶う規模をめざして機能性と機動性を兼ね備えた法人づくりを進めて参りました。



北海学園高校 吹奏楽部のみなさん

さらには次の世代がこの実会の理念を継承し、その範囲が拡大するよう、西・南ブロックで事業所と運営して参りましたが、札幌この実会の適正な人員規模を超えるようになり、課題も見え始めました。そこで、南ブロックで行っていた事業を3つの法人として分割・独立することになりました。

昨年八月に札幌市より法人設立認可書と頂戴し、札幌この実会の理念を礎としながら、拠点となる南区藻岩地区に根差し事業を展開すべく、十月から新たに認可された事業へ北の沢デイセンター・第2この実会・といわサポートセンター)をスタートする事が出来ました。

十月二十二日に療生・メンバー・保護者、

今年も笑って生きよう!

社会福祉法人 NICKOR

統括施設長 山崎 千恵美

WT・3S (就職・倒産・再就職・倒産・再々就職)

28歳の彼は高等養護学校を卒業して、あるお菓子メーカーに就職しました。半社員ながら最低賃金は保障され、労働三法にも加入し5年間は順調に働き、旧通勤業からグループホームへと移り地域で暮らしていました。ところが5年目の春に突然その会社が倒産してしまい失業してしまいました。その3ヶ月後食肉会社に再就職しました。元来無類の照れ屋の彼は、真面目に仕事をやる姿勢はありながら、やる気・積極性などは他の人に伝えることが不得意なため評価は低いものがありました。年数を重ねるうちに彼の良さが理解されるようになり、繁忙期には月収18万円のこともありました。1か月の夏頃から仕事が減り、昼までの勤

務となり、更に週休3.4日となり、5年目の春倒産してしまいました。失業保険や未払い給料等の手続などを進める中、就労移行事業所「いどむエ」を利用し、彼との話し合いの中で「もう倒産しない会社で働きたい」との答えが返ってきました。5ヶ月後、ハロワーワークの紹介で市内では大きな医療法人に再々就職することができました。はじめのの掃除・リネンの仕事をしていました。定期的に開催される介護等の学習会や職員の行事にも積極的に自分から参加する彼の姿に、人は何回でもやり直せるということ、人は成長し続けることも教えられた10年だったと思います。

R・R・R
(リッチ・リッチ・NIKORI)

28年10月にNIKORIは6年目を迎えました。さてこの5周年をどうお祝いしようかと考えた末、とても笑ったり、泣いたり、怒ったりしながら5年間を過ごした仲間達と、美味いものを食べお祝いしようということになりました。10月1日に高級紅白饅頭を仲間達に配ったところ一人の青年が「あれ、もう5年たったのこのかあ、それはそれは、おめでとごうございませう」と自然に言ってくれました。社会人として普通のこの一言に私達は心を打たれ、関わり続けているのだと思えます。

11月6日(日曜日)には「リッチ・リッチ・

NIKORI」と命名して祝夕食会を開催しました。保護者会の補助もいただき、握り寿司+祝辞話という普段あまり食べる機会の少ないご馳走に全員で舌鼓をうちました。さて今年は何んな1年になるので「う!!」どんな未来に出会おうのか。

ワクワク・ドキドキながら
みんなが笑ってGO・GO!!

新年にあたって

社会福祉法人 あむ



法人本部 姉帯 哲征
新年あけましておめでとごさいます。

2009年3月、札幌この定会より独立し、社会福祉法人あむを設立して、今年で9年目を迎えるようになっております。この間、少しずつではありますが、事業が増え、スタッフ数も設立当初の倍以上となりました。

私たちは「出会いからつながりを痛み、話の目を作ることを通して、誰もが大切にされる街をつくりたい」という設立時に掲げた理念の下、障がいのある人、子ども、地域での暮らしを支えるための障がい福祉サービス事業のみならず、ワンマイルネット事業と称して、ご近所さん、地域の皆さんと共に取り組む活動を大切にしていきます。

年齢前のお子さんをご家族が来まる子育て

サロン「ころころひろば」、参加費300円で誰でも参加できる夕食会「晩ごはん食べてはば?」、毎年7月末に開催している「なんきゅう夏まつり」、障がい当事者グループ「お知り協会」の活動支援等々...

昨年新たに以前からお付き合いのあった近所に住むYさんがご自宅を開放して行っていた地域の方との交流サロン「憩」を週一回、雨降条通サポートセンターを会場に開催することになりました。また一つ地域の皆さんと出合い、つながる場が増えました。

また昨年は世界的なファッションブランドGAP札幌ステラプレイス店の店長さんからいただいた「寄付により始まった交流事業「夢の種を咲かす会」の第2回を仁木町の妹尾観光農園にて実施し、利用者さんご家族GAPスタッフの皆さんと果物狩りをしながら交流し、楽しいひと時を過ごすことができました。

障がいのある人たちが安心して暮らすことができる街は障がいのある人たちの暮らしとお手伝いしているだけではできません。障がいがある、ない、若い、年をとっている、男性・女性、日本人・外国人...地域に暮らす方々と共に街を作っていくことが大切だと考えていきます。

札幌が、北海道が、日本が、世界が、誰もが安心して暮らせる場となることを夢見て、新年にあたっての初夢としたいと思います。



あけましておめでとうございます



この実サポートステーションの
昨年の行事の様子です☆みなさん良い顔です♪

クリスマス会だよ！全員集合！



クリスマスパーティ！&パーティ後？！

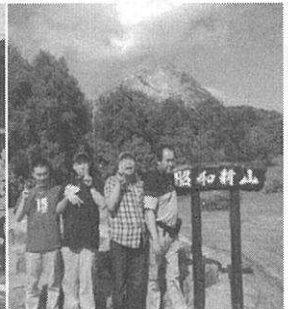


12月13日(火)はクリスマス会でした！
クリスマスには少し早いけど
ご馳走が美味しかった～♪
職員の余興もパワフルで面白かったし
ゲームも盛り上がったね～♡

～お花見～



旅行



～ジンギスカン～



今年もよろしく お願ひます



あけまして
おめでとうございます

日中活動より

フレンドパーク



暑い日も寒い日も、椎茸作業や除雪など、外作業を行っています。

今年の目標は…
シタケを産る!

パック2・5



地域の中で、箱折りや包装など、下請作業を行っています。

今年の目標は…
みんなと仲良くする!

クリーンサービス



施設内の清掃や洗濯のほか、お隣のサポートステーションにも清掃へ行っています。

今年の目標は…
きれいに掃除をする!

今年の目標は
スコップを産る!

おまかせ屋



地域の皆さんからの依頼で除雪から掃除、庭仕事など何でもこなしています。

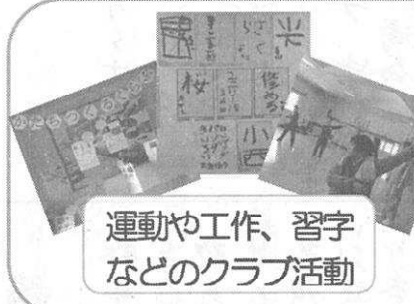
日本仮設(施設外就労)



今年の目標は…
ミスをなくす!

実習により選抜されたメンバーが施設外就労という形で日本仮設株式会社にて作業を行っています。

余暇活動・行事など



運動や工作、習字などのクラブ活動



お母さん方との創作



旅行や外出

地域生活より

地域行事やホーム活動



グループホームでの様子

グループホームで仲よく集合写真☆



みんなで焼肉!



地域の夏祭りに参加!

この実支援センターは2017年も元気に楽しく頑張っていきます!!

新人職員紹介

戸根 正一



7月よりこの実支援センターでお世話になっております。これまでは体がいい就業・生活支援センターにて就労や生活支援の仕事をしておりました。1日でも早く皆様のお役に立てるよう努力いたします。よろしくお願ひ致します。

おくりものありがとう

平成二十八年七月、十一月
藤本真奈美 福地篤美 奥間美香
福井野中榮校 後藤先生 琉球大学 鈴木先生
フルーツショップ たはた 佐々木洋子
社会福祉法人 愛泉会 ワークセンター 美
日本仮設 岩崎商事 (株) 花井柳川
高倉和男 小林彰

金一封

平成二十八年七月、十一月
大長記興 鎌田修 北上靖 この実親和会
原田綾子 いこま福祉会 近藤日出子
上島損害保険事務所

(敬称略)

(敬称略)

支える会のお知らせ

平成二十八年七月、十一月
会費収入 一二〇,〇〇〇円
寄付金収入 八,〇〇〇円

会費納入者・寄付者

益山登吾 内田嘉寿子 土居洋子 中村和子
橋本靖子 古田久子 森岡幸子 湯谷友美
仲鉢勇三 仲鉢節子 仲鉢かおり 仲鉢勇一
長南シゲミ 鎌田修 高谷陽子 渡部哲也
渡部寿美 渡部尚之 渡部修久 相馬哲也
相馬登志子 相馬久美子 相馬京子 亀山茂
片山敬幸 赤塚明 早見起子 近藤日出子
植木貞雄 植木香苗 小木ヨシ子 川口初恵
後藤敏郎 鎌田勝男 松田英己 斎藤寿雄
斎藤芳子 森久美子 鈴木光男 鈴木彌子
田口高子

(敬称略)

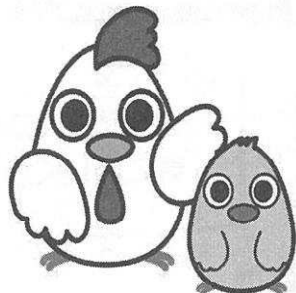


ありがとう

編集後記

昨年、新年号の編集をやらせてもらい、もうまた新年号の編集...
改めて一年の早さにびっくりしています。
昨年と、様々な行事や旅行で、養生さんたちの笑顔に出会い、楽しい一年でした。この実にお世話になってから、体重が減り血圧も下がり本当に健康になっていきます。これから私の健康のために(笑)長く皆さんと一緒に生活していけたらと考えています。

(この実ばより編集委員 菅原 淳矢)



この実ばより第二〇六号

編集者 加藤 孝
発行者 札幌この実会
住所 〒063-1004 札幌市西区西野九六九番地
発行 平成二十九年一月一日